



あおぎり

須坂市立森上小学校
学校だより
R2. 9.23 No.6
文責：校長 西澤真一

みなさまこんにちは。猛暑の夏もようやく収まり、朝夕が秋らしい季節となってまいりました。最近になり、コロナの関係もやや落ち着きを見せていますが、学校では引き続き感染拡大防止策を継続しております。このまま終息に向かうことを祈るばかりです。さて、2学期も中盤に入ってまいりました、これからは運動会や音楽会など規模を縮小しての学校行事が開催される予定です。子どもたちにとって少しでも思い出に残るような行事となるよう、どうやればいいのか知恵を絞ってまいりたいと思います。これからも、変わらぬご支援のほどよろしく願いいたします。



日常的に「考える子」を育てる、森上小学校の授業

本来であれば、毎年この時期に長野県下ではその地域の先生方が全員参加し、授業づくりの今後の方向を学ぶ「教育課程研究協議会」が行われます。しかし、コロナ禍により、今年はその研究会が中止となってしまいました。本校では、体育の授業を中心として「考える子ども」を育てる研究が進んでおりました。公開授業は中止となりましたが、日々の授業研究は日常的に行われており、公開の有無にかかわらず目指す子どもの姿の具現に向けて歩みを進めています。その一端として、8月31日に、校内の先生方が授業を参観して討議する全校研究会が行われました。

体育の授業で、子どもが考えることなんてあるのだろうか、と思われるかもしれませんが、全ての授業においてその場面はあります。4年生で公開された授業は、ボールをつないでラリーを楽しむ「ソフトバレー」を教材にして、子どもたちの「考える力」を育てようと考えた単元です。授業の最初では「自分はこの時間にどのようなことをしたいと思っているのか」、プレーの最中に



「どのように自分が動けばつながりやすくなるのか」、授業の終末では「どのようにしたらボールがつながりやすくなるのか」等、運動をしながら自分に立ち返って考える場面が、随所に埋め込まれていました。

子どもたちは、自然に「考えて自分から動く」ことができおり、今年の授業の研究の積み重ねが生きていると感じられる姿がたくさん見られていました。

ご存じのように、今年度から学習する内容が法令で定められている「学習指導要領」が改訂となりました。そこでは、基本的な知識・技能を身につけることはもちろんですが、知識・技能を身に付けていく課程の中で、自分がどのように「考えたのか」を子ども自身が自覚することが重視されています。そして、体育に限らず、全ての授業においてこの考え方が基盤となっております。ですから、森上小学校の「考える子を育てる」ことは、まさに、学習指導要領を具現することにもつながります。次世代を生きる子どもたちが「自ら考えて進む」ことができるよう、これからも授業改善に励んでまいりたいと思います。

○土曜参観、PTA作業が行われました。

9月12日(土)は、本校では土曜参観日が行われました。土曜参観日といっても、まだまだコロナ禍のため、分散していただいたの参観となりました。当日、校長室にいますと、校長室の天井からドカドカと大きな音が聞こえてきます。2階の視聴覚室あたりの音だろうと思って行ってみると、3年生の音楽の授業が行われていました。3つのグループに分かれ、それぞれ異なるリズムを合わせて演奏しています。そしてその中の一つのグループが床を踏み鳴らしてリズムを刻んでいました。そのうちに、お家の方が出す指示に合わせてそのリズムが演奏され、自分が担当しているパートを一生懸命演奏する子どもたちの姿が素敵でした。



午後は、PTA作業が行われました。コロナ禍により実際に開催できるか、最後まで迷いましたが、人数を絞り、マスクをしての作業となりました。私も実際に側溝の清掃に参加しましたが、マスクをしての息苦しさの中の作業は重労働でした。それでも、1年分の泥を救い上げ終わったときには、なんとも言えない気持ちよさを味わうことができました。PTA環境衛生部の皆さん、計画から当日の準備まで大変お世話になりました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。



○ 今月の校長講話 ～ 小さな思いやり ～



今回は、東京駅で新幹線を7分の間にピカピカにする JR 東日本テクノハート TESSEI (テッセイ) で働くみなさんの、相手を思う気持ちを大事にした姿を紹介しながら、「思いやり」についてお話ししました。「思いやり」は私がこの学校に赴任してから、ずっと子どもたちに投げかけていることです。私のお話を聞いての感想をご紹介します。

(前略) 小さい思いやりとか、大きい思いやりってあるのかなって考えたら見つかりました。友達の約束を破った人と破らなかった人は違うけど、破った人もわざと破ったんじゃないかもしれないから、許してあげるといふ小さな思いやりも大切だと気付きました。(6年生)

こうやって、自分の日常と重ねて考えることができる子どもたちが多いのが、森上小学校の子どもたちの良さの一つだと感じます。今回のお話のもととなった書籍には、気持ちが温くなるエピソードがたくさん掲載されています。ぜひ一度ご覧いただければと思います。

○ 10/10 (土) 運動会の実施について

先日学校より、運動会の開催についてプリントにてお知らせいたしました。重ねてお願いをいたします。今年は運動会を縮小しての開催としました。集まる人数を少なくして密を避けることを第一に考えての開催となりますので、ご理解とご協力をお願いします。

- 今年は一般公開をせず、保護者のみ参観という形をとらせていただきます。また、保護者の皆様におかれましても、参観人数ができるだけ少なくなるようご配慮ください。
- 連学年ごと、時間を分けての開催です。お子様がいらっしゃらない連学年の見学は控えていただきますようお願いいたします。
- 参観の際は、「三つの密を避ける」「手洗い、うがい」「マスクの着用」等、これまでお願いしてきた感染予防対策をお願いいたします。